

語学力+専門知識

(基礎力) (特定領域に精通した専門知識)

外国語を話せることが付加価値ではなく「専門知識」を持ったバイカルチャーを目指しませんか？

講座説明会開催中 (無料)

毎週水曜日 18:00~19:00 毎週土曜日 14:00~15:00

場所：大阪市中央区今橋4-3-22淀屋橋山本ビル

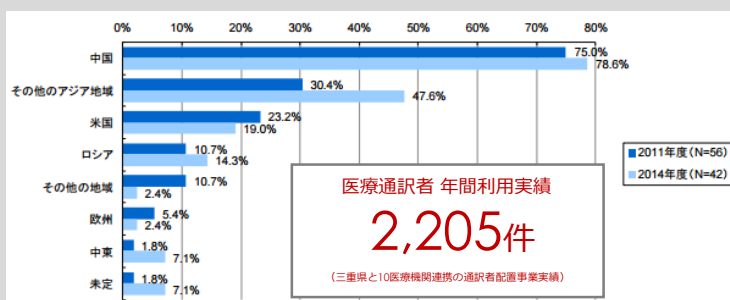


医療通訳士養成講座のご案内

専任者配置の時代

2012年以降、医療通訳士の需要は前年対比150%超え！
医療通訳はボランティア対応から専任者配置の時代が近づいています。

● 2014年度：国別の外国人患者受入れ実施状況 (健診・検診)



● 医療通訳業務の業務範囲例と受診傾向

【通訳業務】

受付、問診票記載、診察・検査 (疾患・治療の説明、検査の説明、手術の説明、退院指導の説明 etc)、会計、薬局案内、予防接種、採血の説明、服薬の説明、受診予約 etc

【翻訳業務】

検査同意書、手術同意書、問診票類、診断結果、院内注意書き etc

【受診傾向】

内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、消化器内科 etc
(健康診断・癌治療・糖尿病治療 etc)

引用：厚生労働省主催 2015年3月9日「厚労省研究会医療通訳体制ヒアリング勉強会」(総合医療病院内含む10医療機関参加)

医療通訳とは

外国人患者の対応に必要な専門的な技術・知識を身に付けた医療通訳士による専門通訳



訪日観光客の増加により、医療機関内では勿論の事、宿泊施設や観光施設、交通機関、商業施設など、外国人が利用する施設において、体調不良や怪我等を訴える外国人の対応を求められる機会が増えています。

またメディカル (ヘルス) ツーリズムの広がりにより、医療・健康を目的に訪日される外国人も増加しています。医療通訳とは、国によって異なる、医療言語・表現・文化・社会背景を理解した専門通訳者により医療を求める外国人の意思疎通を成立させる専門通訳です。

医療通訳士が必要とされる理由

一般の通訳技術・知識だけでは超えられない壁



的確な医療を受ける機会を増やすためには正確・的確に症状や気持を伝えることが重要です。一般的に医療通訳士には医療言語、通訳技術、コミュニケーション能力をバランスよく兼ね備えていることが求められますが、本質としては患者対応の知識を持ち、ホスピタリティ、倫理感が醸成されていることが前提です。

そのため、医療を求める外国人患者との意思疎通は実際には一般通訳を超える高度な技術が必要とされ、現在は一般通訳とは一線を画し、専門通訳者として医療通訳士を求める声が増加傾向にあります。

社名：株式会社日本医療通訳サービス (株式会社ドリームキャッチャー全額出資子会社)
住所：〒541-0042 大阪市中央区今橋4-3-22 淀屋橋山本ビル6階 (代表：06-6210-5289)
設立：2015年10月
資本金：40,000,000円 (資本準備金含む)
代表者：代表取締役社長 大倉 輝久
事業領域：遠隔医療通訳事業、医療通訳士育成事業、医療通訳士採用支援事業、翻訳事業

説明会へのお申込みはこちら

<http://www.jmis.co.jp/briefing/#contact>

(ご不明点や質問事項がございましたら、お気軽にお問合せくださいませ。)



本物志向における品質向上に努める一味違う講座

基本医学知識・健診項目知識・通訳における言語社会文化背景、通訳技術・通訳作法の習得を目的とする講座です。

開催講座情報

医療通訳士養成講座 1級コース (定員数20名)

【開催期間】 2017年3月4日 (土) ~ 6月3日 (土)

(対象言語: 英語・中国語・韓国語)

座学 カリキュラム概要

医療通訳概論	整形 (筋・骨)
医療通訳士の礼儀・マナー・作法	精神と脳・神経系の基礎
身体の仕組み	産婦人科の基礎
循環器の基礎	小児科の基礎
呼吸器の基礎	薬の基礎
消化器の基礎	検査・検診・予防接種・感染防御の基礎
眼科・耳鼻科・歯科・皮膚科の基礎	診断書
腎泌尿器と内分泌・代謝系器官の基礎	-



逐次通訳

(試験は6月中に実施いたします)

受講回数 **12回 計60時間 (5時間×12回)**

講座時間 **12:00~17:15 (休憩15分)**

受講費用 **150,000円 + テキスト代 20,000円 (税別)**

【対象】

日本語のどちらにおいても日常会話が可能の方

日本語 JLPT (日本語能力試験)

N2以上 英語 TOEIC800点以上

中国語 HSK (中国漢語水平試験) 上級相当

韓国語 KLAT (世界韓国語認定試験) 又は TOPIK (韓国語能力試験) 上級相当

※資格をお持ちでなくても上記と同等の語学力をお持ちでしたら受講いただけます。

【講師】

現役の医療通訳士 (※内容によって医学博士・看護職員を招く場合があります。)

※1. 受講料金の分割支払いはございません。一括支払いとなります。

※2. 受講前日までに受講料金の入金確認が取れなかった場合は、一旦キャンセル扱いと致します。

※3. 講座の内容は一部変更する場合がございます。

※4. 受講者が5名未満の場合には開講を見送る場合がございます。

※5. 以降は夏及び秋に開講の予定です。

医療通訳士養成講座 検査・検診コース (定員数20名)

【開催期間】 2017年3月4日 (土) ~ 3月11日 (土)

(対象言語: 英語・中国語・韓国語)

座学 カリキュラム概要

医療通訳概論	医療通訳士の礼儀・マナー・作法
検査・検診・予防接種・感染防御の基礎	身体仕組み
診断書	-
-	-
-	-



逐次通訳

(試験は3月中に実施いたします)

受講回数 **2回 計10時間 (5時間×2回)**

講座時間 **12:00~17:15 (休憩15分)**

受講費用 **45,000円 + テキスト代 4,500円 (税別)**

【対象】

日本語のどちらにおいても日常会話が可能の方

日本語 JLPT (日本語能力試験)

N2以上 英語 TOEIC800点以上

中国語 HSK (中国漢語水平試験) 上級相当

韓国語 KLAT (世界韓国語認定試験) 又は TOPIK (韓国語能力試験) 上級相当

※資格をお持ちでなくても上記と同等の語学力をお持ちでしたら受講いただけます。

【講師】

現役の医療通訳士 (※内容によって医学博士・看護職員を招く場合があります。)

※1. 受講料金の分割支払いはございません。一括支払いとなります。

※2. 受講前日までに受講料金の入金確認が取れなかった場合は、一旦キャンセル扱いと致します。

※3. 講座の内容は一部変更する場合がございます。

※4. 受講者が5名未満の場合には開講を見送る場合がございます。

※5. 以降は夏及び秋に開講の予定です。

よくある質問

● 講師はどのような方ですか？

主に医療通訳士が担当致します。講座によっては医学博士や看護師などが担当する場合があります。

● 試験の合格率はどのくらいですか？

合格率は80%です。不合格の場合は追試制度がございますので、再度試験のみ受けて頂くことも可能です。

● 資格は国家資格ですか？

当社 (株式会社日本医療通訳サービス) が認定する民間資格です。医療資格ではございませんが、需要も高い付加価値がある資格です。

● どのような方が講座を受けませんか？

医療機関にお勤めの方に限らず多様な職種・業界の方に受講いただいています。女性7割、男性3割、年齢は20代から50代まで、広く受講いただいています。

講座会場



建物の屋上にある「TOSHIBA」の看板が講座会場の目印となります。

▼京阪本線・地下鉄御堂筋線

「淀屋橋駅」1番出口 北へ徒歩 5分

▼京阪中之島線

「大江橋駅」5番出口 北東へ徒歩 3分

▼JR東西線

「北新地駅」御堂筋を南へ徒歩 5分

▼地下鉄谷町線

「東梅田駅」南へ徒歩 10分

▼各線

「JR大阪駅」南東へ徒歩 15分

駐車場および駐輪場はございません

講座会場住所：大阪市北区西天満2-6-8